

P
7

筑波大学エコドライブ教習会

筑波大学システム情報工学研究科教授 鈴木 勉
(つくば3Eフォーラム 都市構造・交通システムタスクフォース座長)
(筑波大学つくば・地域連携推進室 つくばエコシティ推進グループ)

つくば市では2030年までにCO2排出量の50%削減目指し、「つくば環境スタイル行動計画」を策定しました。その施策として「エコドライブの取り組み」を掲げ、筑波大学や国立環境研究所が実施のコアとして展開しています。

筑波大学の学生、教職員数は約2万人であり、そのうち自動車を使用しているのは4,700人と約4分の1を占めています。

筑波大学は、行動計画を先導して実践していくため、エコシティ推進グループを中心に教習会、講習会を実施しています。これまで、実習と講義を組み合わせた教習会においては、試行も含め、教職員と学生で68名が受講し、10月の学園祭においては、一般市民対象に講習会を実施しました。2014年までに毎年480人、5年で2400人の受講を目指し、つくば市のみならず、地球環境の改善に貢献していきたいと考えています。

本展示では過去4回行われたエコドライブ教習会の実施の概要、並びに実際に車を運転して計測した燃費結果を分析した結果を紹介いたします。



補足情報

(URLや問い合わせ先情報があれば記載してください)